令和2年度第1回東郷町地域公共交通会議

書面審議結果について

目次

【質問】	1
➤ 議題1 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する事業内容について（資料1-1、資料1-2）	1
➤ 議題2 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する予算決算について（資料2-1、資料2-2）	2
➤ 議題3 東郷町巡回バス再編について（資料3-1から資料3-3）	3
1 再編全般	3
2 藤田シャトル関連	6
➤ その他	9
【意見】	10
➤ 議題1 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する事業内容について（資料1-1、資料1-2）	10
➤ 議題3 東郷町巡回バス再編について（資料3-1から資料3-3）	11
➤ その他	11
【会長講評】	12

令和2年度第1回東郷町地域公共交通会議 書面審議結果について

令和2年4月21日から5月18日まで実施した書面審議の結果については、下記のとおりです。

【質問】

いただいた質問につきまして、下記のとおり回答いたします。

➤ 議題1 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する事業内容について（資料1-1、資料1-2）

● 資料1-2

	質問	回答
1	各地域公共交通会議で何を議題にするか簡潔に示すとよい。	次回の地域公共交通会議でお示しします。
2	令和3年4月の再編に向けて、どのタイミングで何を定める・実施するかをまとめたスケジュールがあるとよい。	
3	公共交通網形成計画見直しのスケジュールがあるとよい。	
4	公共交通網形成計画のスケジュールがないので、次回の会議議題とともに明確にしてほしい。今回の議題3は網計画にも影響が出ると思うが、計画策定までに2回（6・12月会議）しか協議するタイミングがないため、綿密に愛知運輸支局に相談してほしい。	公共交通網形成計画のスケジュールについては、次回の地域公共交通会議でお示しします。 計画策定を進める過程では、随時愛知運輸支局に相談させていただきます。

5	今後の会議（特に6月）は、どのような方法で開催されるか。	今後の会議につきましては、新型コロナウイルス等の状況によりませんが、原則皆様にお集まりいただいて開催します。 6月の会議につきましては、会議室の換気や委員の皆様にはマスクの着用をお願いするなど、新型コロナウイルスの対策を行いながら開催させていただきたいと思っております。
6	令和2年12月に「バスの乗り方教室開催」とあるが、情報のバリアフリー化（タブレット端末を用いたバスの検索体験等）や心のバリアフリー化（車いすでバスに乗る際の手助け等）の観点からの利用促進も検討してほしい。	バスの乗り方教室を開催する上で、ご提案いただいた内容の実施についても検討します。具体的な方法についてアドバイスをお願いします。
7	下から2マス目の実施時期について、「令和2年3月」でなく、「令和3年3月」でないか。	おっしゃる通りです。お手数ですが、修正いただきますようお願いいたします。

※議題1について、承認を得たものとする。

➤ 議題2 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する予算決算について（資料2-1、資料2-2）

● 資料2-2

	質問	回答
1	歳入の「2 補助金」に国庫補助金として3,879,000円とあるが、補助予定額は2,468,000円の見込みである。	3,879,000円については、補助金が満額いただける場合の金額です。そのため、補助額が確定したら修正します。
2	歳入の「3 繰越金」の項目について、資料2-1「4 返納金」に「運営残余金（東郷町へ返納）」とあり、今後も返納するのであれば削除してもよいと思う。	「3 繰越金」の項目について、来年度、同様の資料を作成する際に改めてその記載について検討したいと思います。

※議題2について、承認を得たものとする。

➤ 議題3 東郷町巡回バス再編について（資料3-1から資料3-3）

1 再編全般

	質問	回答
1	今回の協議でどこまで議論するか分からない。	<p>路線図については、昨年度の会議でお示しするとともに、タウンミーティングを開催することで、委員・町民の意見を伺い反映したものとなっているため、今回で概ね固めたいと考えています。今後は、具体的なバス停の位置等について検討を進めていきたいと思ひます。</p> <p>ダイヤについては、今回初めて提示させていただいたので、概ねの方向性を審議いただきたいと思ひます。今後、バス停の位置等を検討しながら決めていきたいと思ひます。</p>
2	じゅんかい君及び藤田シャトルの再編後の運行開始予定日を確認したい。	再編後のじゅんかい君及び藤田シャトルともに、令和3年4月1日から運行開始予定です。
3	協議会全体で再確認する意味でも、全体スケジュールがわかるものがあるとよい。	次回の地域公共交通会議でお示しします。
4	バスターミナルに設置するバス停名は「バスターミナル」か。そうならば、目的地として認識しやすい名称に変更すべき。	現時点のバス停名は仮称です。今後、いただいたご意見を考慮し、名称を決めていきたいと思ひます。
5	他の公共交通との乗り継ぎが可能な場合、相互乗継が可能か示すとよい（主なバス停だけでよい）。	12月に予定している地域公共交通会議でお示しできればと思ひます。

6	道路管理者、公安委員会との調整は済んでいるか。	路線が概ね決まりましたら、バス停の位置等詳細について調整を進めます。
7	ダイヤについて、運行事業者等との調整はどこまで進んでいるか。9月のららぽーと愛知東郷開業後の道路状況等を勘案すると、ダイヤ（案）が変わる可能性があると思うが、その辺りは加味しているか。	<p>今回提示したダイヤについては、現在の運行事業者に渋滞する箇所や時間帯等をヒアリングしており、実現可能性の高いものとなっています。</p> <p>近隣市の大型商業施設開業の事例から、開業後3か月程度は周辺道路が渋滞する傾向にあるため、開業後半年程度期間を開けた令和3年4月に乗り入れを予定することで、できる限り遅延が発生しないよう配慮しています。</p>
8	日進駅で待機時間が20分程度あるが、待機場所は確保できているか。	待機場所については、日進駅のロータリーを予定しています。待機時間においては、他の交通に影響を及ぼさないよう留意します。
9	東コース左回りについては、日進駅で待機時間があるが、2便目及び3便目については、くるりんばすの赤池線及び米野木線と待機時間が重複する。同時に待機時間を設けることで、相互乗継ができるという利点がある一方、バス車両が3台同時に日進駅のロータリーで待機可能か、待機場所の詳細な指定が必要か等の検討が必要と思う。	日進駅のロータリーで待機するに当たって、他の交通に影響を及ぼさないよう、詳細な待機場所等について、今後日進市と協議させていただきたいと思います。
10	補足説明資料に「昼の時間帯はいこまい館を待機場所とする」と記載があるが、バス停で待機すると乗車できると思う利用者が出る可能性があるのでは。	現行でも昼の時間帯はいこまい館を待機場所としており、バスに乗車できないように扉を閉めるようしていますが、必要に応じて車庫に戻るなども検討します。

11	南西コースの赤池駅接続について、再検討してほしい。	赤池駅への乗入れにつきましては、赤池駅周辺の慢性的な渋滞、名鉄バスの既存路線との競合の観点から、乗り入れは難しい状況です。
12	ららぽーと愛知東郷が開業し、日進駅や米野木駅から巡回バスを利用した通勤を考える人は、今回のダイヤ案では間に合わないと思う。渋滞緩和策として、少しでも公共交通機関を利用してもらえるよう考えるとよい。	今回お示ししたダイヤ案では、町民が日進駅や米野木駅を利用して、通勤・通学しやすいよう配慮しています。できる限り多くの人に巡回バスを利用してもらえるよう引き続き検討します。
13	連続運転時間が4時間を超えないようにするため、折り返しの際の休憩は最低10分以上確保する必要がある。	折り返しの際の休憩時間について、ダイヤ案についても10分以上確保できるよう意識しておりますが、今後の検討においても意識します。
14	12月の地域公共交通会議では、令和3年4月の路線再編にかかる路線等の詳細を明らかにできるようにしてほしい。新設バス停については、拡大図と停留所設置箇所の写真を添付してほしい。	12月の地域公共交通会議でお示しするよう意識します。
15	路線を協議する場合、運行計画をまとめたもの（距離、各コースの運行回数、車両数、使用車両、運行予定事業者、公安委員会及び道路管理者との調整状況等）を記載した資料が必要。	12月の地域公共交通会議でお示しするよう意識します。

2 藤田シャトル関連

	質問	回答
1	定期定路線か。車両や運行日は。	<p>お示しした路線図案をダイヤ案で運行するイメージの定期定路線を想定しています。</p> <p>また、車両はハイエース程度のサイズで、運行日については、土日祝日及び年末、年始を除く毎日を想定しています。</p>
2	運行事業者とバスの定員は。	<p>運行事業者については、今年 10 月にじゅんかい君の運行事業者の更新を予定しているため、同じ事業者へ委託したいと考えています。</p> <p>車両サイズについては検討中ですが、ハイエース程度のサイズを想定しているため、定員は 10 名程度です。</p>
3	車両のバリアフリー対応、車いす対応はいかがか。また、車いす対応が求められたときの対応は。	<p>本町のコミュニティバスとなりますので、現在のじゅんかい君同様、車いすに対応した車両にしたいと考えています。車いすを利用する方がいる場合は、乗降者のお手伝いをさせていただきます。</p>
4	いこまい館を経由しなくてよいか。	<p>運行効率性等の面から、いこまい館を経由する予定はありません。</p>

5	<p>藤田医科大学病院での発着場所は。名古屋市交通局、名鉄バス、ひまわりバスとの連絡は加味されているか。</p>	<p>藤田医科大学病院での発着場所については、名古屋市営バスや名鉄バスとの発着場所とは別の箇所藤田医科大学病院と調整しているところです。</p> <p>藤田シャトルの運行目的としては、町民の方の通院やお見舞いをするための足の確保です。それを第一優先とし、他の公共交通機関への乗り継ぎもできる限りしやすいようダイヤを検討していきます。</p>
6	<p>豊明市との調整はどのようにされているか。</p>	<p>豊明市には、藤田シャトルの路線図案を提示しており、渋滞する道路等についてアドバイスいただいているところです。</p>
7	<p>藤田シャトルについて、豊明市での地域公共交通会議では、どのように対応されているか。</p>	<p>本町は豊明市の地域公共交通会議の委員となっているので、今後、本計画について、説明する機会をいただきたいと考えています。</p>
8	<p>国・県の補助対象路線に該当するか否か。また、今後補助対象路線の申請等はどのように進めるか（国・県の見解は）。</p>	<p>藤田シャトルの路線については、補助要件を満たさないため、補助対象路線には該当しません。</p>
9	<p>豊明市では、一部コミュニティバスルートを廃止する等し、代替移動手段等の検討を進めているが、藤田シャトルの豊明市内の運行経路はその該当地域と思われる。その上で、豊明市民・利用者の利便性向上について、豊明市側との調整等の有無は。</p> <p>また、東郷町が豊明市民の交通を確保する異論・難しさはあると思うが、両自治体間で費用負担等の問題点を解決できるならば、自治体連携の枠組みが重要と考える。両自治体の考えは。</p>	<p>本町では、バスターミナルを交通結節点に位置付けており、多くの人が集まることを想定しています。また、既存のバス事業者を圧迫しないよう、藤田シャトルはバスターミナルから直通で藤田医科大学病院に乗り入れる予定です。</p> <p>ららぽーと愛知東郷が開業すると、近隣市を含め移動需要が変わることが予想されるため、それを見ながら自治体間での連携を検討する必要があると考えます。</p>

10	藤田シャトルは、町南部の町民にとって使いづらいため、名鉄バスの停留所圏内に被らない箇所に停留所を設置すべき。豊明市との連携強化及び南北軸構築のため、豊明市の沓掛地区にも停留所を設置すべき。途中停留所はせいぜい2箇所。それならばダイヤの延長の影響も少ないと思う。	
11	同上9と2は密接に関係すると思う。ららぽーと愛知東郷開業後の対応方針のようだが、直通運行の是非、運賃設定などとも関係してくるため、現段階に置いて考え方を示すことと思われるがいかがか。	本路線は、初めて運行する路線であるため、まずは本町から藤田医科大学病院への需要があるか見極め、需要が見込めた場合は、車両サイズや運賃設定、運行形態等を見直すなど、長期的な視点で広域連携について考えていきたいと考えています。
12	藤田シャトルのダイヤは、バスターミナル→藤田医科大学病院、藤田医科大学病院→バスターミナルを分けて記載するとわかりやすい。	12月の地域公共交通会議でそのようにお示しできるようにします。
13	直通ならばタクシーに近い運用となるため、500円でもよいのでないか。地域交通体系を崩すような運賃設定としないようにしてほしい。	藤田シャトルは、税金を投入するコミュニティバスとなりますので、町民が利用しやすい運賃設定にしなければなりません。一方でバス事業者を圧迫するような運賃設定にしてはならないので、これらを勘案して検討します。
14	上記13について、地域交通体系を崩すような安価な運賃設定としないよう、繰り返しお願いする。慎重な協議をお願いします。	
15	藤田シャトルに乗るために巡回バスを利用してバスターミナルまで来る人には、乗継無料券を配布してもよいと思う。	乗継促進策として、提案いただいた内容について検討します。

※ 議題3について、承認を得たものとする。

➤ その他

【質問】

	質問	回答
1	令和2年3月18日開催「第43回国家戦略特区諮問会議」の資料に、「スーパーシティ構想」関係の資料がある。東郷町の交通施策と関係はあるか。	<p>スーパーシティ構想（以下、「SC」という）については、現在進んでおります東郷町中央土地区画整理事業（セントラル開発）において、東郷町中央土地区画整理組合（以下、「組合」という）からアイデア公募として申請された案について推薦している状況であり、町が主導で進めているものではありません。</p> <p>組合の提案の中には、新しい移動体のアイデアもありますが、これはセントラル開発区画内における未来の移動イメージと捉えており、本町の公共交通に対して、取り入れる又は検討する予定は現段階ではありません。</p> <p>現状では、本町の地域課題の中に「渋滞対策」があり、これを解決する手段として、SCでどのように実現できるかを、組合と関係する企業体が検討している状況です。</p>
2	自動運転によるグリーンスローモビリティ的な構想があると情報があり、一定のエリア内、若しくは専用エリア内における移動に、自動運転を導入するようなイメージと聞いている。当該計画の有無及び計画内容は。	<p>上記で記載したとおり、どのような手段を使うか、この一つにグリーンスローモビリティ（以下、「GSM」という）もありますが、現段階で本町の公共交通として計画に入れていく予定はありません。</p> <p>今後、SCにおいて提案する内容にGSM等の移動体の具体的計画が整うようであれば、地域公共交通会議にて情報提供をしていくことは考えられます。</p>

3	当該計画があるならば、地域公共交通会議設置要綱第2条の協議事項（(2)本町の公共交通施策に関する事）との関係等が発生するか否か等、東郷町の考えはどうか。	今後、S Cの申請準備において、G S M等の移動体や移動手段などが本町の公共交通に影響を及ぼす具体的な計画に展開するようであれば、地域公共交通会議における協議事項として提示しなければならないと考えています。
4	今回の資料にデマンド型交通に関するものがないが、今後どうするか。	デマンド型交通については、現在検討中です。関係各者と協議しながら、今後議題に上げていきたいと考えています。
5	意見として出されたものは、今後どう整理するか。	地域公共交通会議に関するアドバイス等については、可能な限り今後の会議で活かしていきたいと思います。 再編におけるご意見につきましては、反映の可否について検討し、再編に向けて内容を固めていきたいと考えています。

【意見】

いただきました意見につきましては、今後各種検討等進める上で参考とさせていただきます。

- 議題1 令和元・2年度 東郷町地域公共交通に関する事業内容について（資料1-1、資料1-2）
- 資料1-2

意見	
1	バスの乗り方教室について、一人でも多くの町民にバスを知ってもらい、利用してもらえよう例年同様協力する。

➤ 議題3 東郷町巡回バス再編について（資料3-1から資料3-3）

質問	
1	じゅんかい君2路線が日進駅に乗り入れ予定で、くるりんばすとの乗り継ぎを考慮したダイヤであると思う。特にくるりんばす循環線とじゅんかい君北コースとの乗り継ぎが強化されており、日進市からららぼーと愛知東郷への輸送需要を満たす重要路線となることを期待している。
2	今後も高齢者等、住民のニーズに配慮しながら、より安全なルートを選定してほしい。そのために道路改良が必要ならば協議する等検討し、利用者が増加する対策ができるとうい。

➤ その他

意見	
1	名鉄バスの新設系統（赤池駅～春木白土～祐福寺）を開設した。これにより、春木白土地区から直通で赤池駅にアクセスすることが可能となった。また、箕ノ手西バス停は、プライムツリー赤池前に設置しており、町南西部の町民の利便性が向上したと思うので、ぜひ利用してほしい。
2	高齢者フリーパスを新設した。65歳以上ならば、6,000円/月、70歳以上は5,000円/月。2か月、3か月のパスもあり、購入後は名鉄バス一般路線をフリーで乗車可能である。

【会長講評】

今回の地域公共交通会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議をお願いすることとなった。書面だけでは、説明不足になったり、十分に意見をいただけない可能性があった。また、一同に顔を合わせて行う会議のように、誰かの発言を聞いて理解を深めたり、さらなる意見が思いつくような相乗効果も期待できない可能性もあった。そこで事務局では、資料をわかりやすく作成し、書面審議用の補足説明資料も追加した。委員の皆様よりいただいた意見を集約してから一度皆様にお返しし、追加的な意見もいただくという手厚い手順を取ることもした。その結果として、多くのご意見をいただくことができ、充実した書面審議になった。委員の皆様方、また、事務局に感謝申し上げます。

今回議題として挙げた3点に対しては、すべて承認いただくことになった。ただし、今年度実施の事業に対してはスケジュールを明確化するとともに、利用促進事業の広報にも力を入れたい。巡回バスの再編についても、令和3年4月1日の再編運行開始に向けたスケジュールを明確化すると共に、いただいたアドバイスを参考に円滑な再編運行の開始を目指す。藤田シャトルについては、検討課題が明らかになってきた。いただいた意見を参考に具体的な運行内容を詰めていく。特に、既存公共交通との役割分担や連携を模索しながら、公共交通全体で地域の移動の利便性向上につながるよう努める必要があると考えている。引き続き、委員の皆様方のご協力をお願いしたい。

【参考】

➤ 委員構成

町民又は利用者の代表	諸輪地区代表
	祐福寺地区代表
	白土地地区代表
	和合ヶ丘地区代表
	御岳地区代表
学識経験を有する者	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授
一般乗合旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者	名鉄バス(株)営業本部運行部運行課長
	公益社団法人愛知県バス協会専務理事
	瀬戸自動車運送(株)取締役
一般貸切(乗合)旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者	名古屋タクシー協会専務理事
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体の代表者	愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事
国土交通省中部運輸局愛知運輸支局長又はその指名する者	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官
愛知県の関係行政機関の職員	愛知県都市整備局交通対策課主幹
	愛知県尾張建設事務所維持管理課長
	愛知県愛知警察署警部
東郷町長又は東郷町職員	東郷町福祉部長
	東郷町都市建設部長
関係市区町村	日進市市民生活部生活安全課長
	みよし市政策推進部次長兼企画政策課長
	豊明市行政経営部企画政策課長